

# 県産材増産への取組

---

～白山市市有林の整備に向けた支援～

- 取組の経緯

石川指導区の県産材生産量 ⇒ 停滞

- ・ 林業事業者による事業区域の固定化
- ・ 他管内での事業活動の増加

- 取組の経緯

## 白山市の状況

- 市職員の森林整備に対する意識の高まり
- ユネスコ世界ジオパークの認定 「保護と活用」

### ▶ 市有林での森林整備

- 森林所有者等を考慮する必要がない
- 計画的で確実な出材



大嵐谷市有林

- 白山市市有林の現況

面積：2,290ha

うち 人工林 344ha (15%)

人工林蓄積：24万 $m^3$

うち 利用伐期以上 22万 $m^3$  (88%)

▶ 適切に管理できていなかった

# 年間指導計画

区分	実施内容	詳細	令和6年度										備考	
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
市有林の情報整理	把握すること	図面												・8月 クラウドから情報収集 ・9月 白山市書庫探す
		台帳												・8月 クラウドから情報収集 ・9月 白山市書庫探す
	整理すること	クラウド												
		台帳作成												
		クラウド掲載事業発注に向けた整理												・白山市書庫探す ・林地台帳地番図整備用務から情報収集
市有林の経営方針検討	計画	森林整備事業の計画を検討 (1箇所)												大嵐山 (次点・・・五味島)
		白山市財政課へ予算要求 (森林整備事業)												大嵐山
		森林経営計画策定												R7年度か
		白山市森林整備計画への掲載												掲載事項なし?
		Jクレジットの発行に向けた情報収集 予算要望準備												難しい?
木材加工・流通体制の 情報整理	情報整理	聞き取り												角永商店、あさひ木材、五大産業、木村製材、かが森組那谷工場、県森連、町八家具
		とりまとめ												

- 林業に関する基本的な指導（机上）



石川農林森林部庁舎

基礎的な知識・市有林の管理



白山市役所鶴来庁舎

森林クラウドを活用した情報管理方法

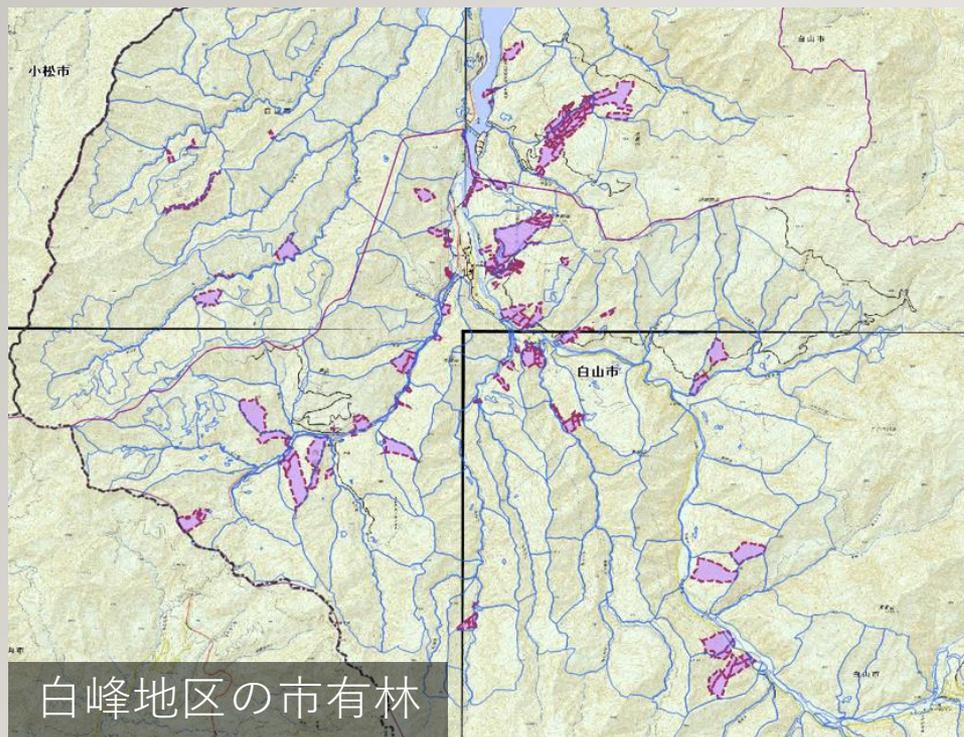
- 林業に関する基本的な指導（現地）



毎木調査の方法



施業技術・整備の必要性



- 白山市への情報提供  
【既存データとりまとめ】



- 白山市への情報提供  
【林業事業者からの情報】



- 市有林現地調査における支援



石川農林森林部庁舎

- 施業の計画策定への支援

# 市職員の意識醸成

市が「白山市森林環境譲与税活用推進委員会」にて「市有林の有効活用」を提案



## 白山市森林環境譲与税活用推進委員会

### ●今後の展開として

1. **白山市有林**の有効活用
  - 森林クラウド上で対象地を選出
  - ゾーニングにより対象地を絞り込み
  - 森林経営計画又は集積計画の作成
  - Jクレジット



2. **市産材**を使った商品の開発及び提案
  - 地元業者を活用（町八家具）
  - 材料（原木）の確保

3. **モデル林**の整備
  - 10～20ha程度の人工林（天然林）
  - 後継者の育成
  - 作業道の開設
  - 毎年ツアーで視察



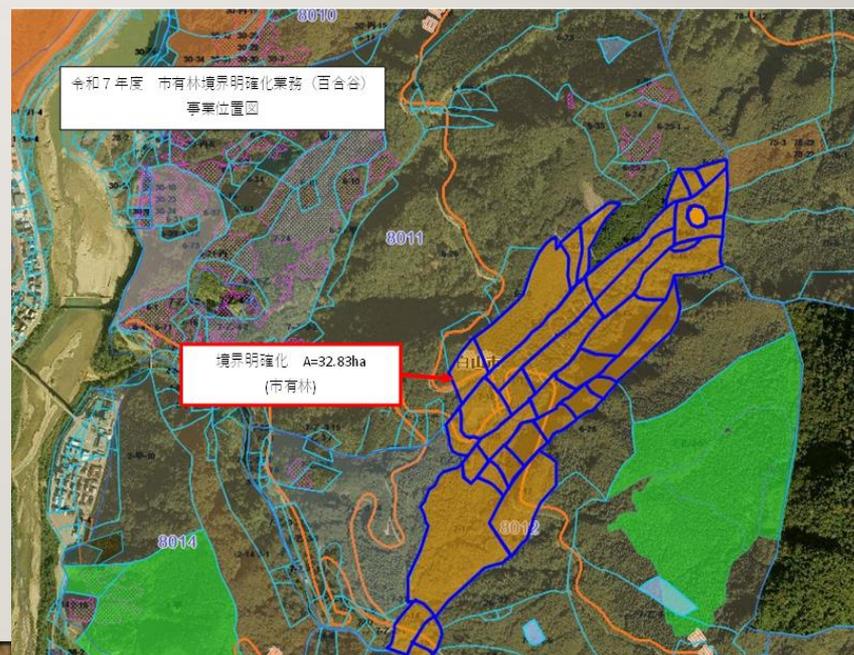
- 市職員の意識醸成

# 令和6年度：「令和7年度林況調査業務」の 予算要求

## 6.2.1 48-1 市有林境界明確化業務

現在管理が行き届いていない市有林について、整備された森林を目指すとともに、材の搬出やJクレジット等の有効活用へつなげるために、境界明確化を行う。

R7年度実施予定地：百合谷（白峰 8012-8013 林班） A=32.83ha



白山市予算資料

- 白山市の今後の予定

令和7年度：評価等を含めた林況調査業務

令和8年度：市有林における森林整備事業の実施

令和9年度：他地区の市有林からの出材

- 今後の普及指導の取組方針

- ・ 森林総合管理士によるきめ細やかな計画作成支援
- ・ 白山市職員による自発的な施業の実施へ誘導

▶ 市有林からの県産材供給、管内の県産材搬出量増加